

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会 (第25期・第2回)

議事録要旨

- 日時：令和3年9月18日(土) 14:30-16:30
- 会場：Zoom 遠隔会議（ホスト場所は、立命館大学アート・リサーチセンター）
- 出席(14名)：行場次朗，大倉典子，小山田耕二，下條真司，伊藤貴之，上野佳奈子，大林茂，越塚誠一，田中覚，萩原一郎，藤代一成，南澤孝太，明和政子，跡見順子

議事録要旨

(1) 前回の議事録の承認

- 承認された

(2) 新委員の紹介(資料1)

- 跡見順子委員が紹介された

(3) 4小委員会の進捗状況(資料2, 3, 4, 5)

① 可視化の新パラダイム策定小委員会(藤代一成委員)(資料2)

- IEEE VISの可視化エリア／キーワード提案に関する検討

② ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会(田中覚幹事)(資料3)

- 下のトピックスで調査報告と議論を行なった：(1)「かわいい」の文化的背景(大倉典子委員)，(2)マンガ・アニメ作品等を引き継がれた伝統芸能の表現手法(應矢泰紀委員)，(3)可視化と人間の認知の関係(坂野雄一委員)
- 「文化財デジタルアーカイビング」，「こころの可視化」，「大規模文書データの可視化」，「マンガ／アニメ」で提言／見解をまとめる方向を探る

③ 社会に資する可視化の小委員会(伊藤貴之幹事)(資料4)

- 小委員会の活動方針：(1)年数回の開催し，(2)公開シンポジウムの企画提案，
- 今後議論したい内容：日常社会に関する多様な情報を集約・提示することで可視化は(日本の)社会にどのように貢献できるか

④ 細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化小委員会(跡見順子委員)(資料5)

- 11月に，小委員会が主導して日本学術会議・公開シンポジウムを開催

(4) 分科会中心の科研費・学術変革領域(A)応募に関して(田中覚幹事)

- 分科会への議論の具体化のひとつの方策として，分科会と小委員会のメンバー有志が，科研費・学術変革領域研究(A)に応募を検討する。
- 日本発／日本独自の可視化の研究領域の提案を行ないたい

(5) 「カーボンニュートラルに関する連絡会議」報告(藤代一成委員)(資料6)

- 可視化がカーボンニュートラルの活動で重要であるとの発言があった旨が紹介された

(6) 日本学術会議・公開シンポジウムの提案

- 2件の提案があり，2件とも了承された(資料7, 8)

- 跡見頼子委員の提案（資料 7）：
科学的知見の創出に資する可視化(6)「総合知～幸福論からみた身心・細胞力、その真理の可視化～」の開催（11/30 実施）
- 萩原一郎委員長の提案（資料 8）：
「科学的知見創出に資する新可視化技術に向けて(7)」
◇ 分科会の 4 小委員会の活動を，小委員会委員長が報告する

（7）議事要旨の提出に関する委員長一任について

- 承認された

※ 資料リスト

- 資料 1 科学的知見の創出に資する可視化分科会委員名簿
- 資料 2 可視化の新パラダイム策定小委員会委員名簿
- 資料 3 ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会委員名簿
- 資料 4 社会に資する可視化の小委員会委員名簿
- 資料 5 細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化小委員会委員名簿
- 資料 6 カーボンニュートラル(ネットゼロ)に関する連絡会議(第1回)資料
- 資料 7 2021年11月開催シンポジウム企画書
- 資料 8 2021年12月開催シンポジウム企画書